

年間授業計画様式例

東京都立芝商業高等学校 令和4年度 地理歴史科 世界史A 年間授業計画

教科： 地理歴史 科 目： 世界史A 単位数： 2単位

対象学年組： 第2学年A組～E組

教科担当者：

使用教科書：（『高等学校 改訂版 世界史A』（第一学習社））

使用教材：（なし）

指導内容	世界史Aの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
<p>第1編世界史へのいざない 編世界の一体化と日本</p> <p>4月</p> <p>1節東アジア</p> <p>2節南アジア</p>	<p>第2 &lt;自然環境&gt; 世界の大地形と世界の国々 &lt;東アジアの文明&gt;</p> <p>東アジアの文化的特質および中国の冊封体制による東アジア世界の形成と発展を理解し、日本の文明の淵源を確認させる。</p> <p>&lt;南アジアの文明&gt;</p> <p>南アジアの宗教と社会を踏まえ、その特質を理解し、日本への思想的・宗教的影響を確認する。</p>	<p>学習プリントの作業による基礎的知識の定着度、学習内容に関する考察を記述させ、興味関心の深まりと考えて表現する力を測る。</p>	<p>6</p>



	指導内容	世界史Aの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
6 月	5節 ヨーロッパ	<p>〈ヨーロッパ世界の形成と膨張〉</p> <p>古代ギリシャ・ローマの古典文明がヨーロッパ文明の基盤となっていることを理解する。</p> <p>西欧世界と東欧世界の分離と独自の世界の発展を理解する。</p> <p>西欧世界の対外発展と主権国家の形成について理解する。</p>	<p>学習プリントの作業による基礎的知識の定着度合い。学習内容に関する考察を記述させることにより、興味関心の深まりと考える表現する力を測る。</p>	7

指導内容	世界史Aの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数	
7 月	<p>6節 アフリカ</p> <p>7節 アメリカ</p> <p>8, 9節 ユーラシアの交流</p>	<p>&lt;アメリカ&gt;アメリカ文明の特質を理解する。</p> <p>&lt;諸地域世界の交流&gt;</p> <p>東西交渉路のシルクロード・海の道・草原の道を通じて、諸文明が相互に影響を与えあい、それぞれの発展を促したことを理解する。</p>	<p>学習プリントの作業による基礎的知識の定着度合い。学習内容に関する考察を記述させることにより、興味関心の深まりと考える表現する力を測る。</p>	6

	指導内容	世界史Aの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
8 月				



指導内容	世界史Aの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
10 月	<p>9, 10, 11 ヨーロッパ近代の成立</p> <p>「大航海時代」の原因と経過、アメリカ・アフリカ・アジアおよびヨーロッパにもたらした影響を理解する。</p> <p>&lt;ヨーロッパ近代&gt;</p> <p>ルネサンス・宗教改革の近代社会形成における意義を理解し、ヨーロッパ諸国の主権国家形成の相違と特質を把握する。</p> <p>12. 13 科学革命と啓蒙思想</p> <p>科学の発展と近代思想の概要を理解する。</p>	<p>学習プリントの作業による基礎的知識の定着度合い。学習内容に関する考察を記述させることにより、興味関心の深まりと考える表現する力を測る。</p>	8

	指導内容	世界史Aの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
11 月	第3章 ヨーロッパ・アメリカの工業化と国民形成          3,4 市民革命	<産業革命>  産業革命の展開過程を理解し、資本主義社会の成立を把握する。  その矛盾から発生した労働運動・社会主義運動を理解する。  <市民革命>  アメリカ独立革命・フランス革命の理念である民主主義を理解する。	学習プリントの作業による基礎的知識の定着度合い。学習内容に関する考察を記述させることにより、興味関心の深まりと考える表現する力を測る。	6

	指導内容	世界史Aの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
12 月	<p>5. 6. 7. 8. 9 ヨーロッパの諸革命</p> <p>10, 11 イタリア・ドイツの統一とロシアの近代化</p>	<p>&lt;ナポレオン戦争&gt;</p> <p>ナポレオンの大陸体制のねらいとイギリス資本主義の優越を理解する。</p> <p>&lt;ウィーン体制&gt;</p> <p>保守反動のウィーン体制の形成と1848年革命による崩壊を理解する。</p> <p>&lt;伊・独・露後発国家の近代化&gt;その特質を日本と比較しつつ理解する。</p>	<p>学習プリントの作業による基礎的知識の定着度合い。学習内容に関する考察を記述させることにより、興味関心の深まりと考える表現する力を測る。</p>	7

	指導内容	世界史Aの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 月	12. アメリカの膨張	<p>&lt;アメリカ&gt; 北東部資本主義の発展・西漸運動・プランテーション奴隷制度の3セクションの対立と南北戦争について理解する</p> <p>&lt;アジア&gt;</p> <p>オスマン・ムガル・清等諸帝国の衰退と植民地化を理解する。</p> <p>日本の明治維新を当時の国際状況を踏まえて理解する。</p>	学習プリントの作業による基礎的知識の定着度合い。学習内容に関する考察を記述させることにより、興味関心の深まりと考えて表現する力を測る。	6

	指導内容	世界史Aの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
2 月	<p>第3編地球社会と日本 1章帝国主義の時代</p> <p>第3章世界戦争と平和</p>	<p>第&lt;帝国主義時代&gt;帝国主義諸国（英・仏・米・独・伊・露・日）の特質とその世界政策を理解し、植民地分割競争を把握させる。</p> <p>&lt;第1次世界大戦とヴェルサイユ体制&gt;大戦の惨状、平和への取り組みとその不足を理解する。ロシア革命と民族解放運動を理解する。</p> <p>&lt;世界恐慌と第2次世界大戦&gt; 帝国主義諸国の恐慌からの回復方途について理解する。ファシズム・軍国主義の実態について理解する。戦争による被害の実相を理解させる。</p>	<p>学習プリントの作業による基礎的知識の定着度合い。学習内容に関する考察を記述させることにより、興味関心の深まりと考える表現する力を測る。</p>	7

指導内容	世界史Aの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数	
3 月	<p>第4章三つの世界と日本の動向</p> <p>第5章地球社会への歩みと課題</p> <p>第6章持続可能な社会への展望</p>	<p>&lt;戦後の東西対立と第三世界の独立&gt;</p> <p>戦後の自由主義陣営と社会主義陣営の対立の構造を理解させる。アジア・アフリカ・ラテンアメリカの独立とその問題点を把握させる。</p> <p>&lt;東西冷戦の終結と21世紀の課題&gt;</p> <p>冷戦構造の解体後の世界について理解する。21世紀の課題として、環境・民族・宗教・人権の諸問題について理解する。</p>	<p>学習プリントの作業による基礎的知識の定着度合い。学習内容に関する考察を記述させることにより、興味関心の深まりと考える表現する力を測る。</p>	4